

4、現代中国をみるアクチュアルな視点

昨年の中国共産党第20回大会において再出発した習近平三期体制は、ウクライナ戦争と「台湾危機」という「作られた危機」を利用した欧米日の中国包囲網、対中敵視政策によって内政・外交とも大変な困難に直面している。第1講では中国革命の底流にある「階級」と「民族」の関係について考え、第2講では、来春の台湾総統選を通じて、そもそも「台湾危機」とはなにか、東アジアを核とした地政学的情勢との関連で解明する。

① 1月20日(土) 人民にとっての科学と専門家とは何か ——中国における「階級」と「民族」の関係

講師＝羽根次郎（明治大学教員 中国近現代史、現代中国論）

② 3月23日(土) 「台湾危機」とは何か ——米覇権と東アジアの矛盾連関からみる

講師＝丸川哲史（明治大学教員）